

医学生生理学クイズ日本大会 2017 開催

天気に恵まれた4月16日、遠くは東北大学、長崎大学、自治医科大学など全国の医学部と台湾国立大学からの学生を迎えて医学生生理学クイズ日本大会2017 (PQJ2017) が本学で開催されました。臨床第I、第II講堂に分かれて進行した予選、準決勝、決勝は、出場16校、21チーム、参加者は約100名となり、熱気あふれる一日となりました。出題、回答、解説は全て英語で行われましたが、3、4年生からなる本学からの出場チームもそれぞれ司会者や観客とのやりとりにユーモアを交えながら全力で難問に挑みました。

熱戦の末、優勝は大阪大学、2位は台湾国立大学となり、優勝チームには大槻カップ、また5位までのチームには医学書多数が贈られました。

大会を後援していただいた学校法人大阪医科薬科大学、大槻勝紀学長、P A会、日本生理学会、岡山医学生学会、賞品及び運営資金のご寄付をいただいた(株)神陵文庫と多数の医学書出版社、愛仁会高槻病院に感謝申



し上げます。そして何よりも問題作成から大会ホームページ運営、出場者募集、機器の準備、司会進行、食堂での懇親会、後片付けに至るまで息のあったチームワークで全国から集まった学生、教員を驚

かせてくれた学生スタッフ諸君に心からお疲れ様と言いたいと思います。

昨年、岡山大学で開催された第1回のクイズ大会に出場したメンバーを中心に始まった準備は半年以上に渡り、授業や実習、部活動の合間をぬっての会合では、学生ならではのアイデアが次々と出てきました。少し心配しながら任せた生理学教室の教員も、これだけ大規模なイベントで参加者を楽しませてくれる学生諸君を、大いに頼もしくまた誇りに思えました。当日は我々も主に観客として学生諸君の作ったショーを堪能させていただきました。大会に参加した他校の教員、学生からも「学生主体で楽しんでやっている感じが素晴らしかった」「問題の質も高く勉強になった」「また来年も参加したい」という声が多数寄せられました。

表彰式の後に地下食堂で行われた懇親会では、学生考案の飾り付けや出し物をまじえたくつろいだ雰囲気の中で、各地の医学生と連絡先を交換し、会話に花が咲いている様子が見受けられました。

今後もこのような機会を通じてネットワークを広げ、医学への興味を高めていってくださることを願っています。

大会の様子は以下の学生作成のホームページ上でもご覧になれます。

【医学生生理学クイズ2017 (PQJ2017) <http://plaza.umin.ac.jp/~PQJ/>】

生理学教室 小野富三人

